

年 組 名前：

和だこ作り 魅力発信



南ア・松田さん 教室開催やイベント参加

「子どもに伝統つなぐ」

「竹ひし」のりを付けたら、きた参加者5人は、松田さんの均等に押さえてね。4月12日、指を聞きながらこの骨組み松田さんが営んでいた電気店を開放して開いた「親子たこ作り教室」。事前にアニメキャラクター（5）は「たこ揚げが大好き」とターや干支などを和紙に描いて参加。姉で大明小4年の愛子さ

南アルプス市荻沢の松田賢貞さん（79）は、「和だこ」町で開かれたたこ揚げイベントにも参加した。松田さんの魅力は地域住民や子どもたちに広めている。4月にはたこ作り教室を開き、「教室」たちと市川三郷話している。〈山梨県松田さん〉

んは「糸を結ぶのが難しかった。絵を描くことも好きで、楽しかった」と笑顔を見せた。松田さんは10年以上前からバリーキンソン病を患い、リハビリを兼ねてたこ作りを続けている。これまで近隣の小学校などから依頼を受けてたこ作りを教えることはあったが、「子どもたちからの反響が大きく、地元の子ともたちにも楽しさを教えてあげたい」と教室を企画。松田さんが師事する「風林火山風の会」代表の渡辺高一さん（89）＝同市山寺＝も、教室をサポートした。

（2025 年 5 月 9 日付 山梨日日新聞 19 面）

問1 南アルプス市の松田さんが、「親子たこ作り教室」を行った理由を教えてください。

.....

問2 4月12日の「親子たこ作り教室」で参加者は、どのような絵を持参しましたか。

.....

問3 あなたが知っている「昔ながらの遊び」を取り上げて、その遊びの説明をしてください。

・遊び：.....

・説明：.....

.....